



令和6年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

# 見沼のほとり

第 1 号  
令和6年4月8日

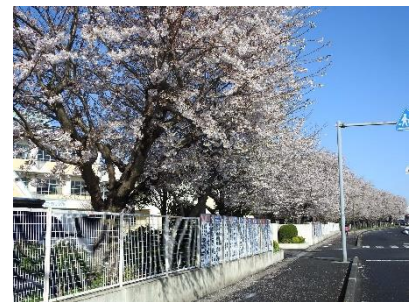
学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

## 向 春

校 長 金子 慎一郎

春の温かさを心地よく感じられる季節となりました。表題は土呂中学校の校歌の一節です。学校周辺の桜並木からは、ピンク色の花びらが満開に近づいてきています。

新入生のみなさん入学おめでとうございます。そして在校生のみなさん、新学年への進級おめでとうございます。令和6年度の土呂中学校の始まりです。今年度は、新入生118名迎え、全校生徒413名、学級数14（通常学級11、特別支援学級3）、教職員48名でスタートしました。



さて、私はこのたび、大原 照光 校長先生の後任として着任いたしました、金子 慎一郎でございます。どうぞよろしく願いいたします。開校29年目を迎える本校は、これまで多くの方々に支えられ、輝かしい歴史を刻み続けてきました。学校を取り巻く環境は大きく変化し、10年前では考えられなかったAIや世界情勢の中、これからの社会を担う生徒の育成に向けてよりよい学校づくりに邁進していく所存でございます。そこで、本年度の学校教育目標は昨年度を継承して次のとおりとし、この目標をもとに教職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

### 主体的に生きる人間の育成 一意欲・健康・豊かな心

〈意欲〉 「何事にも意欲的に取り組む生徒」 （自ら学ぶ力・基礎学力・判断力・やり続ける力）

〈健康〉 「たくましい身体と強い意志をもつ生徒」 （充実した体力・気力・生涯にわたり学び続ける力）

〈豊かな心〉 「相手を思いやり、豊かに人間性をつくることのできる生徒」

（豊かな感性・情操・世界を視野に入れたコミュニケーション）

ところで、4月は出会いの時期でもあります。春休み中に部活動に登校していた生徒が、実に気持ちのよいあいさつを交わしてくれました。私は生徒の皆さんに大切にしてほしいと思っていることが3つあります。それは「挨拶」、「心遣い」、「笑顔」です。「挨拶」はコミュニケーションの基本になり、「心遣い」は新入生に対する先輩の心遣いであったりします。そして「笑顔」は周りの人も明るくしてくれます。是非皆さんも土呂中学校の生徒として大切にしてほしいと思います。

また、今年度は21世紀の社会を生き抜く力をはぐくむために、「真の学力」の充実と「主体的・対話的で深い学び」の促進に取り組んでまいります。

（真の学力とは、知識・技能、思考力・判断力、表現力等の認知能力と「学びに向かう力」、「物事をやり抜く力」、「自己肯定感」、「人や社会と係わる力」などの非認知能力を合わせたもの）

一人ひとりの幸せな人生と豊かな社会を創造するために、学校・家庭・地域がみんなで力を合わせて子供たちの健やかな成長を促していきたいと思っております。保護者や地域の皆様には、本校の教育活動により一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。